



なぞって練習 [行書体]

美しい女の子や若い女  
房やら召使の童女やら  
が見えると言った。  
源氏は寺へ帰って仏  
前の勤めをしながら昼  
になるともう焚作が起  
こるところであるがと不  
安だった。  
「気をお紛らしになって、  
病氣のことをお思いにな  
らないのがいちばん  
よろしゅうございます  
よ」  
などと人が言うので、  
後ろのほうの山へ出て  
今度は京のほうをなが  
めた。

■参考

※発作【ほつた】

※紛らして【まがひらして】

(青空文庫のフリガナより)